



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第27号(2008年9月8日)



アブダビの落ち着いた街並み

UAEのドバイは、超高層ビルが建ち並ぶ、近未来を思わせるビル群が象徴的ですが、同じ国でも首都のアブダビは、少し違った街並みをしています。

下の写真は、ヨットハーバーから見たアブダビの市街地です。近代的なビルが建ち並んではいないものの、ドバイのようにとてつもなく高いビルが不規則に建ち並ぶ光景とは異なり、ビルの高さは統一され、街全体がうまく調和されて落ち着いて見えます。また、ドバイよりも緑化が進んでおり、みどりが多く見られるのも特徴の一つです。ドバイとアブダビは、自動車ではほんの1時間半くらいの距離なのですが、ドバイからアブダビに向かうにしたがって、徐々にみどりが多くなり街並みも落ち着いてきます。ドバイに行った際には、是非アブダビにも足を運んでみてください。(グッド・ドバイ)

落ち着いて見えるアブダビの街



アブダビでは緑化が進む



ドバイからアブダビへ向かう途中の幹線道路から見た風景



写真: UAE出張にて撮影 byグッド・ドバイ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



UAEのダム事情



先日UAEで、将来の水需要拡大に備えて、今後5年間で68のダムを建設するというニュースが発表されました。加えて、担当副大臣は、国の水質資源を守るための新しい連邦法のたたき台も準備するとも言っているようです。今のところ、それらの新しいダム建設にいくら費やされるかは明らかにされていないようですが、中東地域得意の大規模プロジェクトになることが予想されます。また、現在UAEには140ものダムがあるということで、あまり雨が降らず、もともと砂漠が広がっていたUAEに、既にこれほど多くのダムがあること自体驚きですが、5年間で1.5倍程度に増やす計算になり、今後急ピッチで進める必要があると思われます。現状、UAEで水を多く使用しているのは農業や工業セクターということですが、今後、これらのセクターを中心に、ますます水需要が拡大すると予想されており、そのための準備を大慌てで進めることになりそうです。（ほぼ現地人）

中東で化粧品の販売が好調

中東地域における2007年の化粧品販売額が、約2,300億円に達したと発表されました。特に過去3年間は年率約12%の高い伸びを示しているそうで、この地域において化粧品市場が急速に拡大している様子が伺えます。UAEやGCC諸国では近年住民の外見へのこだわりが高まっており、GCC諸国には美容サロンや化粧品を販売する店が増えています。



出所: GULF NEWS

こうした中、世界の化粧品メーカーが続々とドバイに進出しており、ここ最近だけでもP&G、ロエベ、ジバンシー、クリスチャンディオールなど世界の大手10社がドバイに拠点を設けたということです。このように世界の化粧品メーカーがこぞってドバイに進出してくる背景には、市場の急速な成長はもちろんですが、ドバイのフリーゾーンにおける免税や、外資による100%出資が認められていることなども追い風となっているようです。

（ミドル・イーストウッド）



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



中東発の食文化、インド洋料理が話題に！



中東では、ピタと呼ばれる平たいパンとひよこ豆などが使われた料理に、マトンなどの羊の肉や鶏肉などが食べられています。香辛料をたっぷり使った料理なので、馴染みのない人は勇気がいるようですが、一度食べたらクセになるとも言われています。インド洋料理も、香辛料が多く使われているというのが特徴です。猛スピードで経済発展を遂げているドバイは、人口も1970年代の20万人から今や120万人を超えるまで急増しました。海外から集まる人々の影響で、食文化も多様性を極め、今や様々な国の料理がドバイで楽しめるようになってきました。その中で、インド料理・アラブ料理の代表レバノン料理・イランの料理などが主流になって、「インド洋ダイニング」として一大勢力を誇っています。世界の大都市にも進出し注目を集めるこのインド洋料理は、羊肉、鶏肉、野菜、ヨーグルトなどを使ったものが多く、ケバブ、カバブなどと呼ばれる串焼きなどがあります。宗教上の理由から豚肉や牛肉が使われないようです。味については、インド系は辛く、アラブ諸国やイラン系は辛くない傾向にあるようです。中東の料理、身近に感じられてきましたでしょうか？機会がありましたら、ぜひおたメシを！

(老いる招き猫)



コーヒーブレイク 最終回

新しい年度が10月1日に始まります。何の？これは、国際協定によって定められたコーヒーの新しい年度入りなのです。

さて、気になるコーヒーの値段ですが、やはりコスト増を反映して値上がりは避けられないようです。6月の米国の農務省の発表によりますと、2005年1月との比較で、肥料コストが275%、輸送コストが190%の上昇となっているそうです。因みにNYコーヒー先物市場は、投機資金の流入を受け、2月29日に約10年ぶりとなる高値を付しましたが、その後の値動きはやや落ち着いています。この市場もファンドの資金動向に左右されることが多くなっているようですが、最大のファンダメンタルズ材料は最大の生産国であるブラジルの霜害です。暑いイメージがありますが、霜害とは予想外？

ということで、コーヒーの年度末に合わせまして、このコーヒーブレイクも終了とさせていただきます。

今後も引き続き、「らくだより」をご愛読いただきますようお願い申し上げます。 (みんなのGULF)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



出所:ブルームバーグ

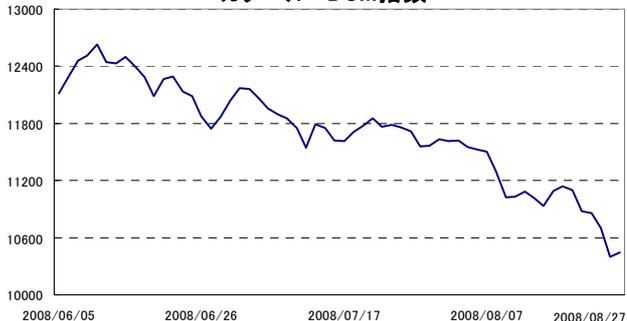
アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。